

「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先だけでなくサプライチェーンの深い層の取引先に働きかけることにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。

(個別項目)

- a. 企業間の連携として、取引先企業に対し事業継承や採用活動の相談・支援を実施
- b. IT実装支援として、電子商取引の促進やデータの相互利用などIT技術を通じた連携強化
- c. グリーン化の取組として、取引先企業へ環境意識向上の啓蒙活動を実施
- d. 健康経営に関する取組として、取引先も含めた従業員やその家族の健康を第一と考え、従業員がいきいきと働き続けられる職場環境への改善

2. 「振興基準」の遵守

発注方法の改善、対価の決定の方法の改善、代金の支払方法の改善、型等に係る取引条件の改善、知的財産の保護及び取引の適正化等を含む委託事業者と中小受託事業者との望ましい取引慣行（受託中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組みます。

3. その他（任意記載）

労務費の適正化を通じて、技術者・技能者の処遇改善と誰もが働きやすい作業環境づくりで次世代の担い手育成に努めます。

2026年 1月 1日

受託中小企業振興法に基づく「振興基準」の内容を理解した上で宣言します。

京急建設株式会社

企業名

取締役社長 土屋 剛

役職・氏名（代表権を有する者）

(備考)

- ・本宣言は、(公財)全国中小企業振興機関協会が運営するポータルサイトに掲載されます。
- ・主務大臣から「振興基準」に基づき指導又は助言が行われた場合など、本宣言が履行されていないと認められる場合には、本宣言の掲載が取りやめになることがあります。